

第 2 回研修会（第 2 回資格更新研修会）

- 1 日 時：2019 年 7 月 28 日（日）13:00 ～ 16:30
- 2 場 所：つくばイノベーションプラザ 大会議室
- 3 参加者：12 名（会員 9 名・一般 3 名）
- 4 テーマ： 「発達性ディスレクシアの検査法とその支援」
- 5 講 師： 宇野 彰先生（元筑波大学教授，筑波大学人間系客員研究員）
- 6 内 容

(1) 実践事例報告（3 例）

大六一志先生を始め 3 名の方からの報告があり，実践報告の後，宇野先生より実践データに基づく様々なご指摘，ご助言等がありました。

- ・ ひらがな，カタカナの読み取りが上がった実践より，聴覚法の有用性
- ・ 子どものやる気を大事にし，納得の上で行う大切さ
- ・ 漢字語呂合わせ作成は子どもに分かりやすく作成するとよい
- ・ 検査結果や評価から，明らかに低い能力などに注目し，背景を分析することなど，実践報告を通じていろいろ学ばせていただきました。

(2) 漢字書字習得のための語呂合わせ作成ゲーム

4 人ずつの 3 グループに分かれ，漢字書字習得のための語呂合わせ作成ゲームを行いました。

10 個の漢字のお題が出され，真剣に考え合う中，ときおり笑いも起こり，白熱したゲームとなりました。いくつか出たものを紹介します。

【背】（背）を（北）にして（月）を見る

【駅】（駅）には（馬）のとなりに（コ人）※こびと がいる

【窓】（窓）から（ウハ）ウハ（ム）ズムズ（心）がはずむ

【聴】（聴）け（耳）をすまして（十四）の（心）

など。他にもたくさん面白い発想が現れました。

(3) 発達性読み書き障害の早期発見，早期対応のシステム

最後に宇野先生より，「ひらがな習得 100%を目指すシステム」とその 3 年間の実践記録が紹介されました。年長児 100 名の中で，リスクのあった 24 名中 21 名は早期リスク発見と夏季休業中の早期支援により，小学校 1 年生の 9 月にはひらがな単語書字の習得度が追いつくなど，その効果は驚くものがありました。

実践が広がり，多くの困難さを抱えた子どもたちが救われればと思います。

以上，ご報告いたします。

<お知らせ>

○第3回研修会（第1回公開講座）

日時：2019年10月13日（日）13:30～16:45

場所：つくば国際会議場 中会議室 406

内容：「気になる子どもの発達と支援～乳幼児から思春期まで～」

講師：榊原洋一先生（お茶の水女子大学名誉教授・医学博士）

※詳細につきましては、茨城県支部のホームページに随時更新されますのでご確認ください。

○事例検討会（12月14日，2020年3月8日）

事例の公募を行っております，ふるってご応募ください。

文責 河村要和